巨大な鳥

発車オーライ
次は関川村

あれは泰彦では……

その人は昔
海の若者だった
その人は昔
くだけるしずくだった

バシャーン

ザザザザー

それは巨大な魚であった……

征夫か………

ジャ
ジャ

あんた！

ふさえ

ポトン

あんた どうして もどった

あの世
冬は
淋しい
おまえの
顔見たく
なった

あんた
変わらん
なあ

りんごの
花咲く丘に
帰ってくるよと
やくそく
してた〜
あなたの
たよりがあ
風にとぶ〜
風に

もう
二十六年
も………
逢って
ないなあ

あたしなんか
もう
四十九だもん
ねえ〜

おとうは！

魚に
餌、やりに
いってる

魚？

それは
巨大な
魚で
あった……

俺は
知ってる
俺は
知ってる
ぞ！

ふさえ！

あ……
あれが
魚か！
えっ

おとうが
そう
言ってた

ごまかすな！
おまえ
知っとる
だろう！

あれは……
あれは……
俺を
殺したん
だぁ——！

みろ！
ウッ

お……
おまえ
……
はらん
どるな！

だれの
子だ！
えっ！

言えっ！
だれの子だ！

ウ
ウ

お……お…と…う…の…子……

…………おとうの子…………

あんたに死なれて征夫と二人どうして生きて行けるのよ！

征夫は……

おとうとけんかして家を出た…………

おまえが追い出したんだろう！

違う！おとうを殺そうとして…………それっきり帰ってこん……

あたりまえだ！おやじの子を
はらむ女だ！母と思うか！

ウウ……
でも征夫はゆるしてくれた………

フン！
それでおまえはおめおめと……

あんたは死んだ！私はね死ねないんだよ生きなきゃならないんだ！

あんたはいい！
理由はどうでも
その死は昔も
今も、変わらない

パシーッ

俺は、おやじの為に
死んだんじゃない！
おまえと征夫の
為に………

だったら
なぜ、
生きていて
くれなかった

哀しいよ！

あたしの体は
おとうに答えて
喜ぶの………

殺してやる！

あたしは
いつのまにか
口から幸せの
うたをうたうの……

殺してやる！

この歳じゃ
子供産めないのに
でも、
産んでくれって……

殺してやる！
大きくなったらあんたのような男の子にするんだって

だめ

サッサッ
サッサッ

はなせ!

殺さないで

おれも泣きたい
おまえや征夫
の事を……

殺して
やる——っ

あんたに
わかるか
私の気持……

わかるかよ～

踏まれても
踏まれても
生きて
行かなきゃあ
ならない……

邪鬼じゃ
邪鬼じゃ

林静一・完

1943.1.14完